

目的

SDGs(Society5.0)に資するCPS(AI/データ連携)時代の日本のコア技術・ノウハウを用いたサービス、製品の国際競争力を確保する。

戦略

日本のコア技術/ノウハウを元にしたルール形成
国内の国際標準化人材の集結、複数同一活動の統合によるリソースの効率的な活用
投資ファンドなどと連携したINDEX・認定基準作成による投資誘導

推進上の課題

当面、以下課題へ対応しつつ、継続可能な民間側体制を整備したい。

スコープを明確にし、具体的な個別テーマの標準規格案を複数提示することが必要では無いか。

国際標準化の戦略を理解し、実働出来る民間側の受け皿が必要では無いか。

既に取り組みされているデジュールおよびデファクト/フォーラム団体と密な協調関係のもと、相互補完的に連携することが必要では無いか。

国内の関係各所との迅速かつ丁寧な調整が必要では無いか。